

9 サイクリングマップ作成の基本的な考え方

【本章の概要】

本章では、自転車利用者の利便性向上に資するサイクリングマップ作成の基本的な考え方について記載する。

サイクリングマップの作成に関する基本的な考え方は、以下の通りである。

- ・サイクリングマップは、広域的な自転車利用ネットワーク全体を対象とした「広域周遊マップ」、複数地域を周遊するテーマ性を持ったルートを紹介する「テーマ別周遊マップ」、各地域における周遊ルートを紹介する「地域周遊観光マップ」等を作成する。
- ・提供する情報としては、これまでの利用者アンケート等による意向を踏まえて、共通的に掲載する「基本情報」^{※1}と、各マップで掲載する「個別情報」^{※2}を盛り込み、各マップの利用者が使いやすいものを目指しつつ、利用者の声を反映しながら、段階的に改善を図っていく。
- ・自転車利用者が現在地をマップで確認できるように、現地サインとの整合性を考慮する^{※3}。
- ・提供媒体としては、紙媒体に加え、ポータルサイト等により周知を図る。

※1 例えば、ルート情報（ルート名、ルート番号等）、施設情報（休憩施設、コンビニ、トイレ等）の情報。

※2 例えば、地域内ルート、地域の観光資源、イベント情報、走行環境等の情報。

※3 現地サインとサイクリングマップの役割分担はP5-3 参照。